

# 学校経営評価結果報告

＝ R6年度後期の評価をR7年度学校経営に生かすために ＝

千葉市立松ヶ丘小学校

保護者の皆様にご協力いただきました令和6年度第2回学校経営評価の結果についてお知らせいたします。この評価結果を真摯に受け止め、今後の教育計画に生かし、教育活動の更なる改善を図ってまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様の本校教育活動へのご支援とご協力をお願いいたします。

## <表の見方>

4；そう思う 3；どちらかといけばそう思う 2；どちらかといえはそう思わない 1；全くそう思わない  
の4段階で教職員、児童、保護者が評価したものを表とグラフに表しました。いずれも下記の評価観点と対応させています。

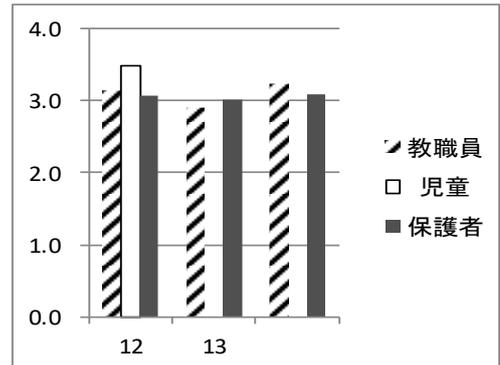
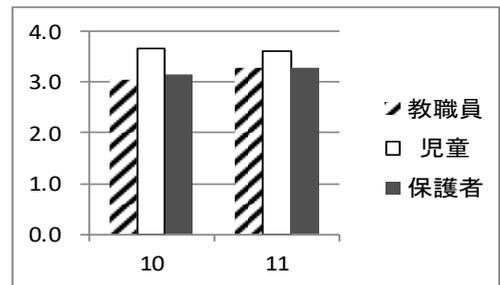
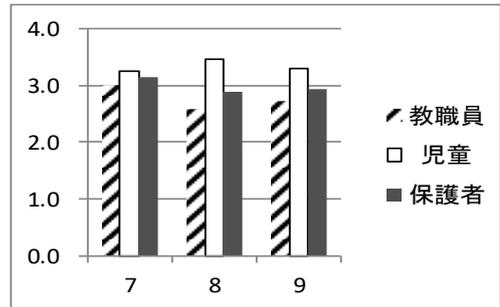
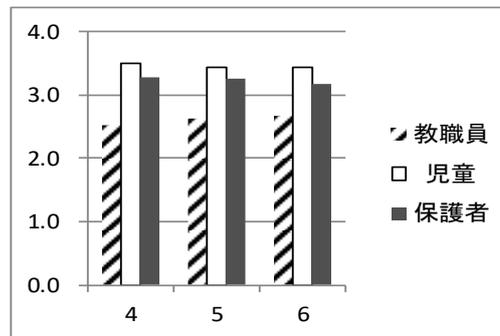
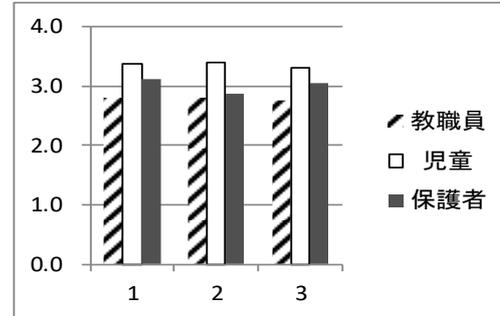
平均値が、3.5以上を「良好」、3.0～3.4を「概ね良好」、3.0未満を「努力を要する」と解釈します。3.5以上は○、3.0未満は▼の記号がついています。

## 令和6年度 第2回学校評価全体比較表

教職員、児童、保護者の集計値（4段階評価）の一覧です。

3.5以上は○、3.0未満は▼の記号がついています。

	評価観点	教職員	児童	保護者
自分で考える子	1 主体的・意欲的に学習	▼ 2.8	3.4	3.1
	2 できるまで・わかるまで学習	▼ 2.8	3.4	▼ 2.9
	3 関わり合って学習	▼ 2.8	3.3	3.0
心豊かな子	4 あいさつをする	▼ 2.5	○ 3.5	3.3
	5 協力し合い・助け合う	▼ 2.6	3.4	3.3
	6 根気強く取り組む	▼ 2.7	3.4	3.2
元気な子	7 すすんで運動する	3.0	3.3	3.1
	8 バランスよく楽しく食事	▼ 2.6	○ 3.5	▼ 2.9
	9 健康に、時間を守って生活	▼ 2.7	3.3	▼ 2.9
寄り添う教職員	10 意欲の向上と基礎学力の定着	3.0	○ 3.7	3.2
	11 慈しみ、愛情に満ちた対応をする	3.3	○ 3.6	3.3
学校づくり	12 感動いっぱいの学校づくり	3.1	○ 3.5	3.1
	13 積極的に情報発信	▼ 2.9	/	3.0
	14 生命の安全教室	3.2	○ 3.5	3.1



## 2 総合的に見た考察と今後の課題について

総合的に見た場合、設問1～3が知育面、設問4～6が徳育面、設問7～9が健康面、設問10～11が教職員、設問12～14が学校運営の評価となっています。設問によっては、教職員・児童・保護者ごとに内容の違う部分がありますが、全体を見渡してみますと、児童からの評価は3以上と高い評価が見られます。児童の多くが、概ね、楽しく学校生活を過ごしており、学校や学級が児童にとっての居場所となっていると考えます。

### 【知育面】 No1～3

前期より教職員・児童・保護者ともに数値は上がったものの、保護者評価、教職員評価ともに低い状態でした。今後も学習のきっかけ・導入を工夫し、意欲的に取り組めるよう改善し、学力の定着を図っていきます。また、ミニテストを実施するなど、スモールステップを取り入れ、子どものやる気や記憶が途切れない・落ちないようにして、よりよい学びができるような授業・学級・学校となるよう、取り組んでまいります。

### 【徳育面】 No4～6

教職員と児童の評価で前期より下がった項目がそれぞれ一つありました。特に挨拶に関する項目で三者の違い・ズレを修正していくことが大切であると思うので、改善していきます。また、学校の特色でもある異年齢集団で活動している「ゆりのき活動」の効果の現れだった「協力し合う・助け合う」が前期より低くなりました。体験活動を充実するなどして、今後も児童の思いに寄り添い、徳育の充実に努めてまいります。

### 【健康面】 No7～9

保護者評価が二項目下がる結果となりました。これは教職員・児童の評価は共に上がっていることを考えると、保護者の皆様への周知・報告等が足りなかったことが原因であると考えられます。学校便り・学年便り・HP等を活用して、児童・教職員・学校の取組をしっかりとお知らせすることで、保護者の皆様にも子どものことはもちろん、教職員・学校の様子を理解していただくことで、より連携を深めていきたいと思えます。

### 【教職員・学校づくり】 No10～14

保護者評価が上がっているにも関わらず、教職員評価が下がっています。子どもの自己肯定感が高まるためには、まずは教職員の自己肯定感・笑顔がでるよう、教育課程を見直し、より一層児童の気持ちに寄り添い、わかる授業・楽しい教室・夢広がる学校の実現に向け、前向きで明るい教育実践に励んでいきます。

【自由記述から】

- ・「PTA活動を外部委託にしてほしい」、「PTAが負担」

回答：今年は負担を軽減するために、①集金作業におけるオンライン決済の導入、②すぐーによるお手紙の配信、③役員会の開催回数の軽減、④広報誌の発行回数の軽減、⑤6年卒業対策委員の仕事量削減、などに取り組みました。引き続き負担軽減と活動の充実のバランスを取りながらも、子どもたちのために活動を行っていきます。

- ・「給食の味付けは、シンプルな味付けでいいので子どもたちが好むものにしてほしい」、「給食が楽しみになるようにしてほしい」

回答：食育的な要素や物価の高騰もあるかと思いますが、まずは「給食がおいしい」を目指して改善していくよう、取り組んでまいります。また、感染症対策をしっかりとおこなないながらも「給食の時間が楽しい」となるようにも取り組んでいきます。

- ・「歯磨きカレンダーをやめてほしい」「紙の手紙をなくしてほしい」

回答：改善できることはデジタル化などで改善しております。ただ、安全・健康・学習のためには変えられないこともあります。できることの一つ一つ取り組んでまいりますので、引き続きよりよくなるご意見をいただけると幸いです。

- ・「松小の体操服を近隣のスーパー等でも扱ってほしい」「指定の体操服を無くしてほしい」

回答：業者とのやりとりも必要なのですが、すぐには対応できませんが、ご意見として承ります。

- ・「連絡帳をしっかりと書いてほしい（書かせてほしい）」

回答：保護者・家庭との大切な連絡手段ですので、しっかりと書く（書かせる）ことを徹底してまいります。

- ・「コロナ以前のように戻して学校行事をやってほしい」

回答：時代の流れとともに、規則や教育環境（ギガタブの導入や熱中症対策や個人情報）なども変わっております。子ども・保護者・学校・地域にとってよりよい学校となるよう、今後も前向きに改善していきたいと思っております。

- ・「子どもルームのお迎えの時に、正門付近が危ない」

回答：職員が立って注意喚起をしたり、学校だよりでお知らせしたり、すぐーで配信するなど行っております。まだまだ至らぬ点があるかと思いますが、子どもの安全のためにも、より一層安全対策を充実させていきます。

学校評価へのアンケート調査のご協力に心より感謝申し上げます。